

新琴似西地区民生委員・児童委員協議会

会長 石尾 勝子^{いしお かつこ}さん



〈写真右〉おそろいのエプロンで活動します。前列左から2人目が石尾さん。〈同左〉子育てサロン「かもかもサロン」は月1回、新琴似三和福祉会館または新琴似双葉福祉会館で開催。

●新琴似西地区民生委員
児童委員協議会
TEL.011-762-8767
(新琴似西まちづくりセンター)

「地域の人々がお互いに支え合う、優しいまちづくりを実現したい」。そんな志を持って、民生委員・児童委員として20年以上、活動を続けている石尾さん。高齢者の安否確認や子育て支援と、その内容は多岐にわたります。コロナ禍にあって、それまで当たり前にしてきた自宅訪問や、幼稚園、保育園、小中学校での活動は今もかなわないう状況。とはいえ、民生委員として活動する上での信条ともいえる言葉「地域の隅に小さい灯をともしたい」を胸に日々、地域のためにできることを続けています。現在、地区の民生委員は、定員28人のところ25人。あと3人を2023年の春までに補充し、アフターコロナを見据えた体制づくりが急務と言います。「皆さんが、故郷と愛を感じるまちにしたい」。石尾さんは「今日も弱い立場にある人の心に寄り添い、役所や関係機関とのパイプ役として奔走しています」。

屯田地区自主防災組織 屯友会



〈写真〉訓練は北消防署、北消防団も全面的に協力。担架を使い、階段での負傷者の搬送方法なども学びます。さらに、避難所の運営側に立ち、受け入れる立場の考え方や手順なども教わります。

●屯友会
TEL.011-775-7600
(株) ケアセンター 担当・白勢

風水害時に浸水が想定されている屯田地区では、2016年から合同防災訓練を行うようになりました。現在は特別養護老人ホーム、保育園、有料老人ホーム、認知症グループホーム2件とそれぞれが所属する町内会、隣接する町内会（計3町内会）、同町内会の高校、北消防署、北消防団、防災設備会社の総勢300人ほどが訓練に参加しています。屯友会の連絡窓口を担う白勢任志さんいわく、「無理な計画や高い理想を持つのではなく、今できることとお互いを助け合って地域との交流を深め、有事の際の自助、共助の礎を築いています」。活動は2021年度「札幌市防災表彰団体」にも選ばれ、モデルケースとして他地域の視察や取材を受けることも増えたといいます。屯友会の取り組みは、地域コミュニティの再生と防災力の向上に大きく貢献しています。